徳島県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例
をここに公布する。

令和七年三月十八日

徳島県知事 後藤田 正 純

徳島県条例第二十九号

徳島県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する
条例

第一条 徳島県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例（昭和三十四年
徳島県条例第四号）の一部を次のように改正する。

第五条第二項中「百分の百二十二・五」を「百分の百二十七・五」に、「百分の百七
十」を「百分の百七十五」に改める。

第二条 徳島県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を次のよ
うに改正する。

第四条第二項中「宿泊料」を「宿泊費及び宿泊手当」に改める。

第五条第二項中「百分の百二十七・五」を「百分の百二十五」に、「百分の百七十五
」を「百分の百七十二・五」に改める。

別表第一宿泊料の項の項名を「宿泊費」に改め、同項中「宿泊料に」を「宿泊費に」
に改め、同表に次のように加える。

宿泊手当	知事が職員の旅費に関する条例の規定に基づいて受ける宿泊手当に係 る旅費の額に相当する額
------	--

附 則

（施行期日等）

1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第二条の規定は、令和七年四月一日か
ら施行する。

2 第一条の規定による改正後の徳島県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関
する条例（以下「第一条改正後条例」という。）の規定は、令和六年十二月一日から適
用する。

（期末手当の内払）

3 第一条の規定による改正前の徳島県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関
する条例の規定に基づいて令和六年十二月一日からこの条例の施行の日の前日までの間
に議長、副議長及び議員に支払われた期末手当は、第一条改正後条例の規定による期末
手当の内払とみなす。

（費用弁償に関する経過措置）

4 第二条の規定による改正後の徳島県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関
する条例第四条第二項及び別表第一の規定は、令和七年四月一日以後に出発する旅行か
ら適用し、同日前に出発した旅行については、なお従前の例による。